

Ngan rdzong snyan brgyud について

——ミラレーパからゲンゾンに伝えられた口伝——

渡 邊 温 子

1. はじめに

チベットの瑜伽行者、ミラレーパ (Mi la ras pa bZad pa'i rdo rje, 1040–1123) には多くの弟子がいるが、その中でも特に重要な弟子はガムポパ (sGam po pa bsod nams rin chen, 1079–1153) とレーチュンパ (Ras chung pa rDor rje grags pa, 1085–1161) である。しかし、ミラレーパに一番長く付き従った弟子は彼らではなく、ゲンゾンレーパ (Ngan rdzong ras pa/Ngam rdzong ras pa) であった¹⁾。ミラレーパは自身の教えの全てをレーチュンパとゲンゾンレーパに授けたために「レーチュンパの口伝」(Ras chung snyan brgyud) と「ゲンゾンの口伝」(Ngan rdzon snyan brgyud) とが生まれた。

本稿では、「ゲンゾンの口伝」の伝統として、ミラレーパからゲンゾンへとどのような教えが伝わったのかを確認したい。

2. Ngan rdzong snyan brgyud

Bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo の 63 巻と 64 巻には、「ゲンゾンの口伝」が収められている。その内容について rGya ston chos rje の記した *Ngan rdzon snyan brgyud kyi dkar chag* を手がかりに紹介しておこう²⁾。

まずは持金剛、ティーローパ、ナーローパ、マルパ、ミラレーパという口伝の根本に位置する人物の伝記から始まり、ゲンゾン、そして口伝の伝承者たちの伝記が収録されている。その後、『金剛語句 (*rDo rje tshig rkang*)』をはじめとする、ティーローパ、ナーローパ、マルパらの作品があり、灌頂、加持、符牒 (brDa) などに関した作品などが続く。これらは著者が明記されていないものが多い。その他、ミラレーパの教えをゲンゾンが書き留めた作品や、後代口伝を継承した人物によって書かれた解説や作品が収められている。教えとしてはチャクラサンヴァラ、マハームドラー、ナーローの六法などの密教修法についての教誡が主である。

(56)

Ngan rdzong snyan brgyud について (渡 邊)

3. ミラレーパからゲンゾンへ

ゲンゾンはミラレーパから一体どのような教えを受け継いだのか。それについて、ゲーツァンレーパ (rGod tsang ras pa rNa tshogs rang grol, 1494-1570)³⁾ の著したゲンゾンの伝記である *Ngan rdzong ras pa'i rnam thar 'khrul med* (以下『ゲンゾン伝』)⁴⁾ には、

大尊者〔ミラレーパ〕は「父マルパ翻訳師はインドへと赴き、賢者であり成就者である大ナーローパから一切の教誡を授けられた。その中でも特別な八つの教誡 (gDams pa brgyd) などをお前に授けるとおっしゃって、私 (ミラレーパ) に壺を満たすように全て授けてくださった。その中でもこれはさらに重要なものであるチャクラサンヴァラの口伝 (bDe mchog snyan rgyud) と言うのだ」とおっしゃり (中略) 特に「如意宝珠〔の如き〕口伝の教誡 (sNyan rgyud yid bzhin nor bu'i gdams pa)」は、私 (ゲンゾン) 以外の誰にも他には授けられなかった。尊者レーチュンパに一部授けられたともおっしゃった。少しも授けておられないともおっしゃった⁵⁾。

また、シヨンヌペル (gZhon nu dpal, 1392-1481) の著した『青史 (*Deb ther sngon po*)』には、

尊者ミラレーパの教誡の全ては、タントラと関係のある方便道の教誡と、加持と供養の口伝の教誡の二つからなる。そのうち口伝の教誡は他に与えず、尊者レーチュンパに与えられたということだ。私 (ゲンゾン) には尊者ナーローパの八つの法 (rJe nā ro pa'i chos brgyad) を全て授けてくださった⁶⁾。

とある。「ナーローパの八つの法」をゲンゾンが特に教わったというその法とは、上の『ゲンゾン伝』に記されていた「特別な八つの教誡」と同じものと推測される。しかし管見の限りでは、ナーローパ、マルパ、ミラレーパの伝記に八つの法に関する記述は見られない。

Bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo 所収の「ゲンゾンの口伝」を参看してみると、*Ngam rdzong snyan brgyud las/ dam tshig yid bzhin nor bu* において八つの三昧耶戒が説かれている⁷⁾。これはゲンゾンがミラレーパから授かった教えと奥書に記されるが、その開始の部分に、

na mo rad na gu ru/ theg pa chen po gsang sngags snyan brgyud kyi gdams ngag bya ba yin no/ de las 'dir bsrung bya gtso bor bston par byed pa'i dam tshig yid bzhin nor bu'i gdams ngag bya ba yin de la spyi don brgyad yod pa las/

と、この教えが「如意宝珠〔の如き〕三昧耶戒の教誡」と呼ばれると記されているため、『ゲンゾン伝』に記されていた「如意宝珠〔の如き〕口伝の教誡」とは、

おそらくこれらの三昧耶戒のことではないかと推測される。また『青史』にあった、ゲンゾンに「ナーローパの八つの法」を授けたという記述と、「如意宝珠〔の如き〕口伝の教誡」の数が八つという符合から、ゲンゾンが授かった「ナーローパの八つの教誡」とはこの八つの三昧耶戒の教誡のことではないかと思われる⁸⁾。

これら八つの三昧耶戒の教誡は、シャン翻訳師 (Zhang lo tsā ba grub pa dpal bzang po, ?-1177)⁹⁾ の *sNyan brgyud las/ dam tshig yid bzhin nor bu* によると、ナーローパの著した『金剛語句』の “bse ba ro snyoms dam tshig gsum la sbyar” という偈句と、同じくナーローパの *gZhung chung* の “thub pa'i bstan pa rgyas mdzad dngos grub mthar phyin zab dang rgya che gnyis med dam tshig kun gyi gzhi” という一節の意味を示したものとある¹⁰⁾。この教誡がナーローパの教えの解説だという点も、『青史』にあった「ナーローパの八つの教誡」という言葉と一致している。

4. bDe mchog snyan brgyud と Ras chung snyan brgyud

ミラレーパの師マルパ=チューキ・ロドゥー (Mar pa Chos kyi blo gros, 1002-1097) は、9つある「無身ダーキニーの教え」の全てをナーローパから授かることが出来なかったため、残りの教えを授かって来るようにミラレーパに命じた。しかし、ミラレーパは修習を修行の中心に据えたため自らインドに赴くことはせずに、弟子のレーチュンパにマルパの命を託した。レーチュンパはインドでナーローパの弟子であるティプパ (Ti pu pa) から無身ダーキニーの教えを授かり、ミラレーパへと伝えた¹¹⁾。『青史』によると、レーチュンパがミラレーパに捧げた教えを、ミラレーパがゲンゾンに伝え、そこから伝わった教えを「チャクラサンヴァラの口伝 (bDe mchog snyan brgyud)」と呼び、一方レーチュンパから伝わった教えを「レーチュンパの口伝」と呼ぶ¹²⁾。「レーチュンパの口伝」もチャクラサンヴァラの教えを含んでいるにも関わらず、なぜ「ゲンゾンの口伝」のみが「チャクラサンヴァラの口伝」という別名を冠しているのか。先の『ゲンゾン伝』のマルパの言葉に、「ナーローパの八つの教誡」を「チャクラサンヴァラの口伝」と呼ぶとあった。そして『青史』には、ゲンゾンに対しミラレーパが「ナーローパの八つの教誡」を全て授けたとあった。この二つの記述に鑑みて、「ナーローパの八つの教誡」を受け継いだゲンゾンの口伝の伝統が「チャクラサンヴァラの口伝」と呼ばれたのではないだろうか。

(58)

Ngan rdzong snyan brgyud について (渡 邊)

5. まとめ

「如意宝珠 [の如き] 口伝の教誡」についてゲンゾンのみが、もしくは主として彼がその教えをミラレーパから受け継いだ。そしてこの教誡は *Ngam rdzong snyan brgyud las/ dam tshig yid bzhin nor bu* に説かれる八つの三昧耶戒の教誡のことではないかと推測された。それがまた「チャクラサンヴァラの口伝」とも称されていたと考えられる。この教えが「ゲンゾンの口伝」全体の中でどのような位置を占めているのか、また「ゲンゾンの口伝」が「レーチュンパの口伝」とどのような差異があるのかについては、今後の課題としたい。

-
- 1) レーチュンパがミラレーパに師事した年数は27年とゲンゾンよりも6年短く、ガムボパに至っては7ヶ月という短期間しかミラレーパと時を共にしなかった (*Zhi byed ri khrod pa, Nyi zla'i 'od zer sgron me*, in *'bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo*, vol.9, p.486).
- 2) *rGya ston chos rje, Ngan rdzong snyan brgyud kyi dkar chag*, in *Bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo*, vol.63, pp.396–398. 3) ツァンニョン・ヘールカの弟子で、「レーチュンパの口伝」の伝承者。ゲンゾンの伝記の他に、レーチュンパの伝記なども作成している。 4) *rGos tsang ras pa, Ngan rdzong ras pa'i rnam thar 'khrul med*, in *bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo*, vol.64, pp.393–408. 5) 『ゲンゾン伝』 pp.400–401.
- 6) *'Gos lo gzhon nu dpal, Deb ther sngon po*, 四川民族出版社, stod cha, p.536. 7) In *Bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo*, vol.64, pp.494–512. 8) *Ngam rdzong snyan brgyud las/ dam tshig yid bzhin nor bu* に説かれる三昧耶戒は以下の通り。① Bag lod dran pas bzung ba'i dam tshig ② bsGoms zhing ngo sprod par bya ba'i dam tshig ③ brTen par bya ba'i dam tshig ④ gSang bar bya ba'i dam tshig ⑤ Mi bsag bar bya ba'i dam tshig ⑥ Mi 'bral bar bya ba'i dam tshig ⑦ bZa' bar bya ba'i dam tshig ⑧ bSrung bar bya ba'i dam tshig 9) シャン翻訳師はレーチュンパの弟子キュンツァンパ (*Khyung tshang pa ye shes bla ma*, 1115–1176) の三人の弟子から教えを受け継いでいる (*Nyi zla'i 'od zer sgron me*, p.477). 10) *'Bri gung bka' brgyud chos mdzod chen mo*, vol.59, p.398. 11) 拙稿「レーチュンパからミラレーパに伝わる「無身ダーキニー」の教えについて」『印度学仏教学研究』60-2, 2012年参照。 12) 「ゲンゾンの口伝」は「無身ダーキニーの口伝 (*Lus med ma'i snyan rgyud*)」とも呼ばれるとミラレーパの伝記に記されているが、レーチュンパから伝わった教えの名をなぜ「ゲンゾンの口伝」の方が名に冠しているのかというその理由については現時点では不明である (*Nyi zla'i 'od zer sgron me*, p.477).

(本稿は、松下幸之助記念財団「松下幸之助国際スカラシップ」の研究助成による成果の一部である。)

〈キーワード〉 ミラレーパ, ゲンゾンレーパ, ゲンゾンの口伝

(大谷大学大学院)